

多彩な広域連携で目指す にぎわいのまち

りんくうのまち・泉南の今

今回訪問した泉南市は大阪府南西部に広がる泉州地域の南部（大阪湾沿いの泉南地域）に位置し、北側に隣接する田尻町、さらにその北側の泉佐野市とともに「臨空のまち」とも呼ばれる。

平成6年9月1日、大阪湾南東部泉州沖5kmの沖合に開港した関西国際空港（関空）および、関空の開業に併せて空港対岸に開発（埋立造成）された大阪府・副都心地区「りんくうタウン」がそれぞれ、泉佐野市・田尻町・泉南市に属しているからだ。

ちなみに大阪湾の海上につくられた人工島である関空の住居表示は「泉佐野市泉州空港北1番地」「泉南郡田尻町泉州空港中1番地」「泉南市泉州空港南1番地」である。また対岸に埋立造成された「りんくうタウン」は北地区（商業・流通中心）、中地区（住宅・工場団地

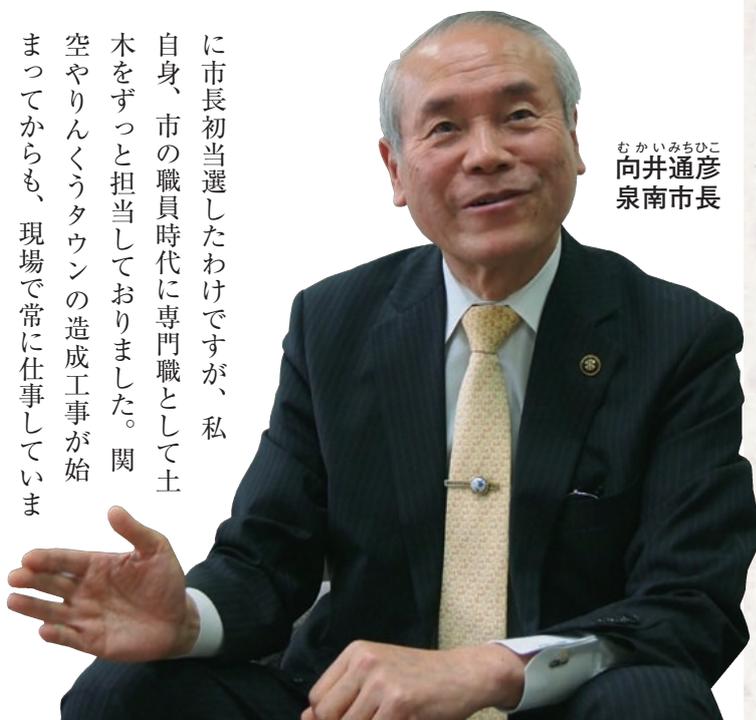
中心）、南地区（工場団地・空港関連産業）に区分されるが、北地区が泉佐野市、中地区が田尻町、中地区の一部と南地区が泉南市の市域になっている。

りんくうタウンの総面積は318ha強、そのうち117ha強が泉南市に属する。これは泉南市の全市域（48・83km²）の約2・4%に当たる。

関空およびりんくうタウンの埋立造成は1980年代末から始まったが、関空が開港した平成6年、りんくうタウンがまちびらきした平成8年を境に、かつて繊維産業のまちとして知られていたながら繊維産業の衰退で大阪市のベッドタウンとしての色合いが強くなっていった泉南市は、再び産業のまちとしての活気を取り戻すこととなった。この泉南市の変革期、奇しくも関空開港の年に市長就任したのが、現在5期目を迎えている向井通彦・泉南市長だ。

「たまたまの巡り合わせで、そういう時期

むかいみちひこ
向井通彦
泉南市長



に市長初当選したわけですが、私自身、市の職員時代に専門職として土木をずっと担当しておりました。関空やりんくうタウンの造成工事が始まってからも、現場で常に仕事していましたので、そういう意味では非常に感慨深いものがございます」

そう語る向井市長の名刺には、全国市長会副会長、泉南市長の肩書のほかに、さりげなく技術士（建設部門）と記されている。「技術屋の仕事には今も強い愛着がある」という向井



日本初の24時間空港・関空はアジアのゲートウェイをめざす (写真提供：新関西国際空港株式会社)

9市4町による ダイナミックな広域観光

市長にとって、関空やりんくうタウンの造成および建設を現場で経験し、開港・まちびらき後には、その運営に首長の立場から携わるという境遇の変遷はまさに「技術士冥利、市長冥利に尽きる」展開だろう。

もともと大阪都心部から40〜50km圏内の通



各地区のやぐらが集い、市民が燃える秋祭り

勤圏にあった泉南市は、関空の開港に伴う高速度道路および鉄道路線の整備などで、さらにアクセスが良くなった。

また、今年で開港20年の節目を迎える関空の年間利用者数(国際線・国内線総計)はピーク時の2000万人超(平成11年〜12年)より減ったものの、平成24年度の実績でも約1680万人を数え、西日本最大の航空旅客数、発着回数、航空貨物取扱量を誇っている。

「泉南市域のりんくうタウンは工場団地や空港関連産業中心の地区ですが、その中で唯一の大型商業施設であるイオンモールには、年間の来店者はおよそ1200万人という統



地場の産品が豊富に揃う総合交流拠点「サザンびあ」と名物・穴子天ぷら井(マーブルビーチ前)



計があります。しかも1200万人のうち、泉南市民は17%というデータがある。つまり市外から年間1000万人近くがイオンモールの訪れるわけです。関空利用者の1680万人を足せば、延べ人数にしてもすごい数の人々が毎年、泉南市の市域を通過しているわけです」

(向井市長)

それはやはり関空およびりん



なんば～関空を高速で結ぶ特急ラビート(南海電鉄)

くうタウンを有する泉佐野市や田尻町にとつても同様だが、おびただしい数の空港利用者、りんくうタウン来訪者を施設外の市街地に誘導する体制や方法論がまだ整っていない。

それはまさに「泉南地域にとって、目下、最大の課題の一つ」(向井市長)だが、これらの膨大な通過客の一部だけでも、何とか周辺地域(泉南地域および泉州全域)に呼び込めないかとの発想から、向井市長は泉州地域9市4町の首長による広域観光事業の共同実施の呼び掛けを行い、「泉州観光プロモーション

推進協議会(会長・堺市のほか、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町)の結成となって実現した。

実は以前から9市4町の企画および観光の担当職員で、泉州地域プロモーション実行委員会を組織して、関空の利用促進とそれに付随する泉州全域のにぎわい創出に取り組んでいた。そんな中、たまたま平成24年5月に、泉州地域の首長で組織する「泉州市・町関西国際空港対策協議会」(現在は「泉州市・町関西国際空港推進協議会」へ改名)が仁川国際空港(韓国)の視察を行った際に、担当職員たちの取組と首長の活動を合わせて、観光事業についても泉州全域で連携し、共同で取り組むべきではないかと向井市長が提案した経緯があるという。

9市4町による泉州観光プロモーション活動は、平成25年4月から本格始動。独自のホームページ、フェイスブックページを開設するとともに、9月には関空にて「泉州にぎわいフェスタ」を開催し、アジアに向かって開かれた国際空港である関空の特長を生かして、アジアの民俗音楽と泉州のマスコットキャラクターを中心とするステージや、泉州の物産展を実施した。

本誌取材(昨年10月末)以後の活動予定も、韓国・台湾・タイの旅行社やマスコミ関係者を招くファミトリップ(バスツアー)の実施(同11月実施)、旅行博(台湾)での海外プ



地物の魚介を水揚げする樽井漁港は釣の名所としても有名

ロモーション(泉南市担当、同12月実施)、関空への泉州PRブース設置(今年2月予定)、泉州観光ガイドブック・多言語版の作成(今年2月予定)、泉州国際市民マラソンと連携したスポーツツーリズムの実施(今年2月予定)、泉州観光モデルツアーの造成と催行(今年2〜3月予定)と、多彩な企画が目白押しだ。

「今後は、泉州地域それぞれの地域資源であり、同時に国際的にも知られる歴史的遺構、例えば堺市などが世界遺産登録を目指している百舌鳥・古市古墳群や、歴史的に重要拠点であった岸和田城(岸和田市)、泉南市を横断



多数の海水浴客が訪れる人工海浜・サザンビーチ



ウミガメの産卵も見られる(孵化したばかりの赤ちゃん)

げする樽井漁港と岡田浦漁港に挟まれており、同時に樽井漁港は釣りの名所として、また岡田浦漁港は地引網やグルメの観光漁港としても親しまれている。転じて内陸部に向かえば、市内各所に

する熊野街道(紀州街道)などをアピールして、国内外の閑空利用者の皆さまに、泉州地域に深く入り込んでいただけるような企画も順次立案し、実施していきたいと考えております」(向井市長)

今後、広域での観光プロモーション活動としては、韓国・台湾・タイだけでなく、閑空の就航ネットワークに合わせて中国・ベトナム・シンガポールなどへも対象の輪を広げていく予定だという。

多彩でキラリと光る 泉南市の地域資源

同時に泉南市では、平成24年4月に、市民・事業者・団体・行政がオール体制の協働による観光振興の取り組み母体として「泉南市観光協会」を設立した。

これは9市4町による取組と直接連動するものではないようだが、泉南市には閑空利用者以外にも、前述したようにイオンモールを市外から訪れる年間1000万人もの「手つかずの資源(交流人口)」がある。向井市長は「目玉になるような観光資源はまだ少ない」というが、りんくうタウン南地区のサザンビーチ(人工砂浜)や、隣接するマーブルビーチ(大理石の丸石を敷き詰めた人工海岸)の風景は、どこか日本離れして異彩を放ち、特に夏季シーズンは多くの遊客を既に集めている。またこれらの人工ビーチは大阪湾の豊富な魚介を水揚げする樽井漁港と岡田浦漁港に挟まれており、同時に樽井漁港は釣りの名所として、また岡田浦漁港は地引網やグルメの観光漁港としても親しまれている。

は花の名所(金熊寺の梅林、堀河の桜、林昌寺のツツジ、熊野街道沿いにある梶本家の藤棚、浄光寺のアヤメ、長慶寺のアジサイ、岡田浦海岸地区のハマビルガオなど)が点在し、泉州の水なすをはじめとする新鮮な農産物も豊富に採れる。

さらに和歌山県との県境にもなっている丘陵部(和泉山脈)にはイングリッシュローズガーデンを有する農業公園「花咲きファーム」が立地するなど、海・里・丘陵という変化に富んだ地形と自然環境、さらには市内に100以上ある溜池の水辺風景、数々の歴史的遺構などが満遍なく散らばり、確かに派手



全国からバラファンが訪れるイングリッシュローズガーデン



3市3町による広域福祉課発足の調印式

さはないが個人的で好感度の高い観光資源が
少なくない。

9市4町の広域観光の一環として訪れる観光
客や、イオンモールを訪れる人々、近隣の人々
などをうまく誘導するシステムをつくれれば、に
ぎわい創出も決して難しいことはない。

「市民・事業者・団体・行政が協働するオー
ル体制の観光協会を設立したのも、豊かな地
域資源をみんなで掘り起こし、育て、無理の
ない、自然で持続性のあるにぎわいを、じっ
くり構築していききたいからにはかなりませ
ん」(向井市長)

そういう意味では、和泉山脈に立地する農

業公園「花咲きファーム」内のイングリッシュ
ローズガーデン(平成24年5月オープン)は、
日本人観光客だけでなく、閑空を利用する外
国人観光客にも大きな人気を得る可能性が感
じられる。

世界的に著名なイングリッシュローズの栽
培および苗の販売会社として知られるデビッ
ド・オースチン・ローズズ社が、初めて国外
に進出したローズガーデンなのだ。

鑑賞用のローズガーデンとしても優れてい
るが、生産される苗は既に直販、通販ともに
大変な人気を獲得している。取材の折にイギ
リス人技術者による日本語と英語交じりの
ユーモラスな解説ぶりを体験したが、老若男
女多数の入場者を魅了していた。

「なぜ初めての国外進出が泉南市なのかと
いえば、社長のデビッド・J・C・オースチン
さんがジエトロの紹介で泉南市を訪れて視察
した折に、大阪湾に面して雨が少なく日照量
の多い、瀬戸内式気候に近い泉南市の気候と、
日がよく当たって風通しのいい和泉山脈の斜
面の環境は、バラの栽培にピッタリだととて
も気に入ってくださったのだそうです」(向井
市長)

泉南市観光協会にとつての新たな名所とし
ての位置付けだけでなく、国際的なスケール
の観光振興を目指す9市4町の取組において
も、世界的なバラ栽培家のご託宣は、今後の
観光振興にとってまさに「日当たり良好」の瑞
兆といえるのではないだろうか。



泉南市のりんくうタウン南地区に立地する工場団地

地域連携がはぐくむ 認知症になっても安心なまち

9市4町の泉州地域に限らず、りんくうタ
ウンにおける泉南地域2市1町の取組など、
泉州および泉南地域は非常に密接な広域連携
が随所で行われている。およそ8世紀の中ご
ろに成立したとされる、律令制下の和泉の国
が現在の9市4町による泉州の原型とされる
が、堺市から忠岡町にかけての4市1町によ
る泉北地域、岸和田市以南の5市3町による
泉南地域の結び付きも強い。



「地産知消（地域の特産品を良く知って消費しよう）」をテーマに開催された第1回泉南マルシェ（平成25年8月）

役であるキャラバンメイトにも指導的な役割を担っていた。だくために、「認知症コーディネーターの養成」を、綿密なプログラムのもとに実施しているのが注目される。

また「子どもの権利に関する条例」制定が象徴する「子どもの安全・安心」や「子どもの居場所づくり」「子どもたちが参加するまちづくり」などへ

加えて平成25年4月には、泉南市・泉佐野市・阪南市・熊取町・田尻町・岬町の3市3町による広域福祉課が設置され、また同じく3市3町による泉州南消防組合が本格稼働を始めた。

広域福祉課を実現した3市3町は、さらに泉州南広域連携勉強会を立ち上げ、今後は環境・衛生分野、まちづくり分野において広域連携を模索し、将来的には地方分権の受け皿として、市民サービスの向上に向けて行政の効率化をさらに目指すとしている。

それ以外にも、泉南市と阪南市が一部事務組合「泉南清掃事務組合」を設立し、従来から2市共同による清掃事務処理を実施するなど、泉州地域の多彩な広域連携は、さまざまな可能性を秘めながら、地域課題に柔軟に取り組んでおり、今後の展開が注目されることだ。

今回の取材でもう一つ強く印象に残った事例は、国の施策を積極的に進める中で、す

に市民の1割以上にも達している「認知症サポーターの養成」や泉南市独自企画である「認知症コーディネーターの養成」への取組だ。

平成22年から始まった認知症ケア推進事業「WAO（輪を）！ SENNAN」の一環で、「W（忘れてもだいじょうぶ） A（あんしんと） O（おもいやりの町）せんなん」認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」をキャッチフレーズにしている。

高齢者の認知症問題については、地域における「自助・互助・共助・公助」の役割分担が重要になるが、とりわけ市民力による自助・互助の質を高めることは、高齢化社会がさらに進む状況下において不可欠の取組であり、全国各地でさまざまな試みがなされている。

認知症の人を見守るためのサポーター養成も各地で行われているが、泉南市ではさらに一歩進めて、認知症ケアに関する研修会等でのコーディネート役や、サポーター養成の講師



日照量の多い泉南市では太陽光発電が盛ん（南部水みらいセンター）

の取組、「せんなん女性議会」の開催に象徴される女性の視点や感性を市政に反映する各種の仕組みづくりなど、泉南市におけるまちづくりには、いわゆる「市民目線」の実情に即した事例が目立つ。

泉州地域、泉南地域の密接な広域連携については再三言及してきたが、それは取りも直さず泉州地域には地域コミュニティが今も脈々と息づいていることを証明している。近隣地域の共同で成り立つ「りんくうのまち」も、観光振興も、高齢者・女性・子どもにやさしいまちづくりも密接につながっているのだ。

（取材：文 遠藤 隆／取材日平成25年10月29日）